ブリ森豆知識　クイズ解答　＆　解説

ブリ森プロジェクトお問い合わせ　小田原市環境部環境政策課　電話 0465-33-1476（直通）
Fax0465-33-1487 ブリ森ブログ　http://blog.goo.ne.jp/burinomori/c/25af9984d4d5e818f81b128af257f003

1　答え３　明星ヶ岳

明星ヶ岳周辺には、昭和30年代までは地域共同の山、入会地のカヤ原が広がり、秋になると足柄平野の農家が、たい肥にするカヤを取りに通いました。その後草原から人工林に代わり、以前は白山中学校の学校林もあり、子供たちが草刈りなどをして木を育てました。

2　答え１　コアジサシ

酒匂川で営巣保護活動が行われていますが、飛来数、営巣ともに減少しています。飛来数は平成16年度130羽、平成18年度90羽、平成20年度100羽、平成21年度20羽です。夏鳥としてオーストラリアから飛来していますが、その数は世界的に減少しています。

3　答え３　８５％

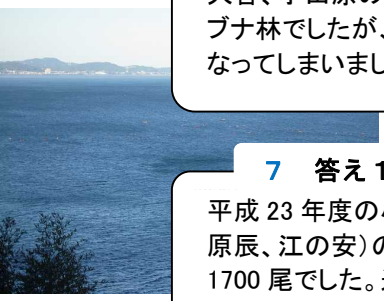
人工林の全国平均は 67%です。人工林は枝打ち、間伐の手入れが遅れると、下草が育たず、保水力が無く、栄養分が作れません。森がなければ海は死ぬと言われています。森の手入れは豊かな海を作ります。

4　答え３　定置網

小田原では100%この網で獲っています。全国平均は 40%。この漁法は、まき網のように魚群探知機を使って魚群を一網打尽にする漁法ではなく、魚を待ち、網に入るのは近づいた魚の約 20%の自然に優しい漁法です。

5　答え２　９０ｃｍ

白銀山（標高 993m）のブナは直径20～50cmの若く元気なブナが多いです。先日計測したものは胸高直径46cmで樹齢約 100 年でした。
大昔、小田原の山も標高 700m以上はブナ林でしたが、今では白銀山だけとなってしまいました。

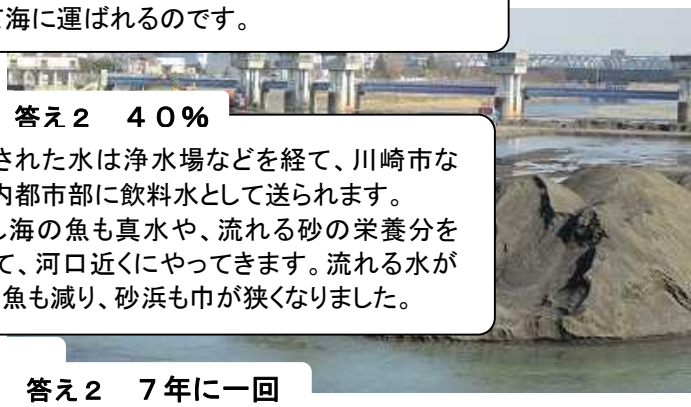


6　答え　２　フルボ酸鉄

植物プランクトンの成長には鉄が必要です。
豊かな森には、落葉がくさった後にできるフルボ酸が豊富にあります。このフルボ酸が土の中の鉄と結合し、水溶性のフルボ酸鉄になり、川によって海に運ばれるのです。

7　答え１　２千尾

平成 23 年度の小田原市の定置網（石橋、米神、原辰、江の安）のブリ・ワラサの漁獲尾数は、約 1700 尾でした。過去最高は昭和 29 年の定置網（米神、小八幡）の約 275000 尾で日本一でした。現在の漁獲高は当時の 160 分の 1 です。



8　答え２　４０％

取水された水は浄水場などを経て、川崎市など県内都市部に飲料水として送られます。
しかし海の魚も真水や、流れる砂の栄養分を求めて、河口近くにやってきます。流れる水が減り、魚も減り、砂浜も巾が狭くなりました。

9　答え３　コンビニゴミ

コンビニのお弁当容器やレジ袋、ペットボトルがとても増えています。ポイ捨て容器は道路のU字溝を伝って川に流れ、海にたどり着きます。不法投棄（ふほうとうき）では引っ越しゴミが増えています。不法投棄は巡回パトロールにが行われ、罰せられます。

10　答え２　７年に一回

ブナは 1ha あたり 10 トンの葉を落とす、最も保水力の高い樹木です。ブナの種子は非常に栄養価が高く、種子の 30%が脂肪分です。リス、クマ、ネズミなど、多くの動物が好んで食べますが、たくさんなる年は7～8年に1回。山には実生苗が少なく、苗の作りにくい種類です。